

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則、および本大会申し合わせ事項により実施する。
- 2 ウォーミングアップは、クラブ毎に補助競技場で行う。補助競技場には、スタブローの他、80mハードル（4台目まで）や、走り高跳び、走り幅跳びのピット等を設ける。ただし、補助競技場でジャベリックボール等を用いての投擲練習は禁ずる。
なお、競技開始前の7:00～7:45は、メイン競技場も使用可とする。
- 3 雨天走路は、北側を招集所、中央付近を日清食品カップ種目（100m決勝進出者ならびにコンバインド出場者）の待機場所、南側を表彰者控え場所とする。
- 4 招集は、全種目、雨天走路北側にて行う。招集開始時刻～招集完了時刻の間に完了すること。
（招集完了時刻に間に合わない場合は、欠場とみなすので十分に注意すること。）
欠場、棄権の際は、招集開始時刻までに、各クラブのADを着用したコーチがその旨を記録室に連絡すること。
- 5 競技運営については、以下の通りとする。
 - （1）レーンで行う競技種目は、原則2レーンから使用する。また、棄権者があった場合、そのレーンは空けたままとする。ただし、50mと3年100mは奇数レーンのみ、コンバインドAの80mHは4～8レーンを使用する（3、9レーンにはハードルを設置する）。
 - （2）時計は、写真判定（1/100秒）とする。
ただし、全国大会種目（100m、混合リレー）の1位が1/100秒まで同タイムであった場合は、1/1000秒で勝者を判定する。
 - （3）U-12のトラック競技は、タイムレースとする。
 - （4）フライング（不正出発）は、2回で失格とする。
 - （5）コンバインドのフィールド競技の試技は2回とする。
 - （6）走高跳バーの上げ方 練習 最初の高さ
100 105、110、115、120、125、128 以後2cmずつ
 - （7）抗議は、競技規則第147条③にのっとり、審判長に口頭で申告する。
- 6 支給されたアスリートピプスを付けること。
また、個人のトラック競技種目と混合リレーのアンカーは、腰ナンバーシールを右腰後方に貼ること。
- 7 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。
- 8 日清食品カップ種目の1～3位入賞者には賞状とメダル、4～8位入賞選手には賞状を授与する。
U-12種目の1～8位入賞者には賞状を授与する。
- 9 速報記録は、群馬陸協普及委員会 Web ページに随時掲載する。
また、大会終了後の結果は、群馬陸協の Web ページに掲載する。
- 10 正田醤油スタジアム群馬および補助競技場で撮影した画像・動画については、個人としての視聴を目的とし、SNS等に掲載にしないこと。



普及育成委員会QRコード